

作成するテキストファイル

赤字が設定必須

■ ニューラルネットワーク設定「NET.txt」

CrossEntropy BATCH_SIZE 50 EPOCH 10 LAMBDA 0.000000 EPS 0.001000	Square か CrossEntropy ミニバッチサイズ Epoch 数 荷重減衰(weight decay) 学習率
--	---

※LAMBDA の設定は0にしておいて下さい（不具合がある）

■ レイヤー設定「LAYER.txt」

LAYER 4 1 [28, 28]  各レイヤー設定（レイヤー記述）参照  END	レイヤー数 左から入力特徴マップ、入力ユニット幅、入力 ユニット高さ  ※幅、高さは入力ユニットを行列と見なした場合 の数字
---	---

■ レイヤー記述

全層結合層

LAYER_TYPE_FullyConnected 1 [7, 7] -> [1, 10] Softmax	左から、入力特徴マップ、出力ユニット幅、出力ユニ ット高さ、 活性化関数  ※幅、高さは入力ユニットを行列と見なした場合の数 字 ※活性化関数は最終頁に記載
--	---

畳み込み層

LAYER_TYPE_Convolutional 20 [28, 28]->(5, 5)->[28, 28] st 1 ReLU	左から、入力特徴マップ、畳み込み幅、畳み込み高さ、 ストライド、活性化関数
---	--

Max プーリング層

LAYER_TYPE_maxPooling 20 [28, 28]->(4, 4)->[7, 7] st 4 Identity	左から、入力特徴マップ、畳み込み幅、畳み込み高さ、 ストライド、活性化関数
--	--

■ 活性化関数は以下が使える

Identity

ReLU

Sigmoid